

ASA KURURA

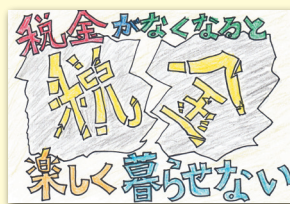
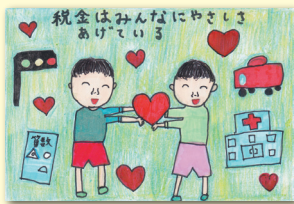
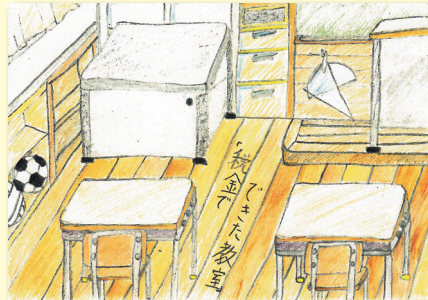
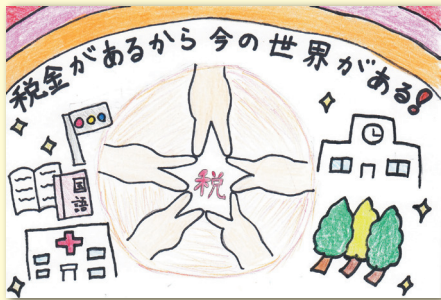
小中高生のための

税友あさくら

甘木朝倉地区税務連絡協議会

第56号

小学生の税に関する絵はがきコンクール 第9回 優秀作品



税を 考える 価値
11月
11日(金)~17日(木)

※この作品は平成27年度の優秀作品です。



高校生の優秀作文

★福岡国税局長賞

「未来の幸せを築く税」

福岡県立 朝倉高等学校
一年 穴井 佑依

★福岡県久留米県税事務所長賞

「私たちの暮らしと税と未来」

福岡県立 朝倉高等学校
一年 関屋 輪香

「人の役に立つ」

福岡県立 朝倉高等学校
一年 田中 愛菜

★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

「税金の大切さ」

福岡県立 朝倉高等学校
一年 内藤 佑依

★朝倉地区租税教育推進協議会 会長賞

「税について考えたこと」

福岡県立 朝倉東高等学校
一年 堤 巴奈

★公益社団法人 甘木朝倉法人会賞

「税のありがたさ」

福岡県立 朝倉光陽高等学校
一年 古賀 真由

中学生の優秀作文

★福岡県納税貯蓄組合連合会 会長賞

「あなたは皆の事を 考えられる人ですか？」

朝倉市立 甘木中学校
一年 江藤 瑠歌

★甘木税務署長賞

「未来のための貯金」

朝倉市立 南陵中学校
三年 平井 舞子

「安心・安全を届けるヒーロー」

朝倉市立 甘木中学校
一年 井上 美和

★福岡県久留米県税事務所長賞

「税金は幸せへの手立て」

朝倉市立 甘木中学校
二年 井上 あかり

★甘木税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

「税について学んで」

朝倉市立 甘木中学校
一年 小島 千鶴

「僕達の生活と税金」

筑前町立 夜須中学校
三年 森 健翔

★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

「税金について考えたこと」

朝倉市立 甘木中学校
一年 武内 智怜

★朝倉地区租税教育推進協議会 会長賞

「税金の使い道」

朝倉市立 甘木中学校
一年 菅原 未唯

★公益社団法人 甘木朝倉法人会賞

「税金の大切さ」

朝倉市立 甘木中学校
二年 松木 愛花



* 高校生の作文

甘木税務署管内の高校より、五一八編の応募があり、その中から六編の作品が入選しました。

* 中学生の作文

甘木税務署管内の中学校より、九三五編の応募があり、その中から九編の作品が入選しました。

高校生の優秀作文

★福岡国税局長賞

福岡県立 朝倉高等学校

一年 穴井 佑依

「未来の幸せを築く税」

私が小学六年生の時、税に関する絵はがきを授業で描きました。その絵はがきが優秀賞に選ばれ、主催者の方が学校に來られて表彰してくださいました。その時、主催者の方がこんな言葉を私にかけてくださいました。「あなたの絵はがきを見て一番良かったと思うのはこの人の表情。幸せそうな顔をしていて、すごく素敵だね。」この言葉をきいて私はとても嬉しくなりました。その時の私は税について深くは知らなかったけれど、自分の知っている事を最大限に生かして完成した絵にとっても満足していたからです。また、私の描いた女の子の表情をほめられたことが何より嬉しかったです。「税があるとこんなに便利な生活が送れるんだ。便利な生活が送れるっ

て幸せなことなんだなあ。」と思いながら、女の子の絵を描いたことを、今でも覚えています。この絵はがきを描くことが、幼い私にとって税について知ることになったと思います。そして二年前の二〇一四年、衝撃的なニュースを耳にしました。それは、消費税が五パーセントから八パーセントに引き上げられるというものでした。私の家族も、「たった三パーセントしか変わらないけど、家電製品とかを買うとなると三パーセントの差は大きいね。」と話していました。この時、あの主催者の方が言っていた言葉を思い出しました。「この人は幸せそうな顔をしているね。」消費税が上がるといふことは、人々にとって幸せなものなのだから

うか。逆に負担になるのではないか。私はそう思っていました。だからこの作文をきっかけにもう一度税について深く調べてみました。

増税の理由としてあげられていたのは、「高齢化社会における社会保障の財源を国民全体で保つ」というものでした。この言葉を聞いて私はある二人の顔が思い浮かびました。それは、祖父母です。私たちが消費税を負担することは、祖父母などの高齢者を支える土台になるのだと実感しました。そして、その土台は私たちにしても、高齢者にとっても幸せを生みだすカギになると思いました。

私たちが普段納めている税。それは教科書や病院、消防など様々な場面で役割をなしていますが、未来への土台づくりの一つになっているというのを、この作文を書いていく中で新たに見つけ出すことができました。税は私たちに「幸せ」を与えてくれていて、私たちが便利で幸せな生活を送ることができるのです。税は「今の負担」ではなく「未来への貯金」になつていくと私は信じて、納税はきちんとしていくべきだと思えました。未来の幸せを自分達の手で築いていく為にも。



★福岡県久留米県税事務所長賞

福岡県立 朝倉高等学校

一年 関屋 輪香

「私たちの暮らしと税と未来」

「税金によって、私たちの暮らしが支えられている。」私は、このように思います。みなさんは、「税」のありがたさを分かっていますか。 unnecessaryなものだと思いませんか。

税金とは、私たちの身近なものに使われています。私の身近と言えば、教育費。高校生になっても、教育費を税で負担してもらっています。高校三年間で、約三百万円もの負担をしてもらっているのです。もし、これが自己負担だったとしたら、両親にはとても重い負担をかけさせ、とても苦しい生活を送っていたでしょう。そう考えると、税のありがたみがよく分かります。

また、私は二回手術を受けたことがあります。どちらも、将来がんにならないための手術でした。この時の医療費も税によって、自

己負担が軽くなっています。このおかげで、私が将来がんになる確率は大幅に下がりました。手術をした時は、「手術なんて、なんでもせなにかんと！」と思っていました。しかし、今このように、税について学んでみて、とても感謝しています。税のおかげで、手術が出来たと。

そして、私は「税に対する考え方」を考えてみてほしいと思います。税と聞くと大抵の人が嫌なイメージを持つでしょう。また、大抵の人が税を納めたあとの事には、興味を持っていないでしょう。しかし、本当にそれでいいのでしょうか。アメリカでは、税金は自分たちが生活や事業を営むうえで必要な政治をやらしてもらっために考えるのだと考えているそうです。そのため、税を進んで納め、使い道にも強い関心を持っています。

す。この姿勢はとても素晴らしいと思えました。ただの傍観者ではなく、国民という自覚を持って、自分たちの暮らしを作っていく、守っていく。こんな姿勢が、日本国民に広まっていくと良いと思います。

税の管理をしているのは政府だけれど、税の使い道を決めるのは国民が声を上げれば、変わってくると思います。そのためには、私たち自身が税について関心を持たなくてはなりません。これからの日本の未来を決めるのは、私たち一人一人の姿勢によると思います。

★福岡県久留米県税事務所長賞

福岡県立 朝倉高等学校

一年 田中 愛菜

「人の役に立つ」

アラームの音がした。もう朝かと思い、私は眠い目をこすって起きる。目の前が真っ暗だった。おかしいと思い、時計を見ようとした次の瞬間、ベッドが大きく左右

に揺れた。「ガシャンガシャン……」に揺れた。バタン。」

暗闇の中、ベッドにしがみついたまま、何かが落ちる音がした。怖い。ただ一つの感情で私は揺れが



おさまるのをひたすら待った。

二〇一六年四月十六日、一時二十五分。そう、これは熊本地震である。十六年間生きてきた私にとって初めての体験だった。一度目の大きな揺れが終わった後も、何度も余震が続き、感覚が麻痺したせいか、揺れていないのに揺れているような気がした。それだけ私にとって地震とは恐ろしいものとなった。

翌朝、テレビをつけると、どのチャンネルにしても「地震」という文字が映っていた。「震度五弱」私の住む福岡の震度だ。こんなに大きな揺れは初めてだった。震源地の熊本は震度六強。体験したもののよりかはるかに大きい。熊本の人は無事であるのだろうかと真っ先に思いうかんだ。テレビを見ているうち、建物が倒れて、ガラスが割れている様子、熊本の人が避難所で生活している様子など、痛々しい映像が流れた。私はあの揺れを思い出しそうで怖かったけど、自分より辛い人から目をそむけたくなかった。だからテレビを消そうとは思わなかった。

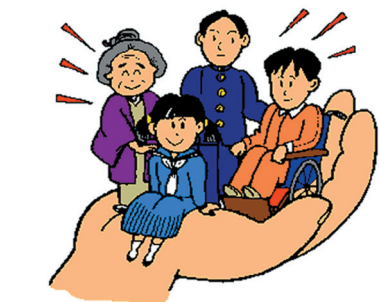
月日が流れ、三カ月経った七

月、あるニュースに私は目を留めた。「熊本地震復興基金に五百十億円配分」そう書いてあった。政府が熊本地震の復興基金の財源として、熊本に五百十億円の特別交付税を配分する方針が決まったようだった。自分が物を買うときに払う「税」は知らないところで人の役に立っている。何だか嬉しかった。何も行動におこせなかつた自分に腹が立ったときもあつたが、私はちゃんと人を助けることが出来ている。そう思えた。

最近、消費税が八パーセントから十パーセントへ増税するという話題が出ている。国民の声はさまざまだ。「社会の役に立つから賛成！」という人もいれば、「これ以上負担がかかるのはごめん！」と反対する人もいる。人柄や家柄が全員違うという事は、考えだつて食い違うだろう。

あるアーティストがこう言った。「困っている人や助けを求めている人に、手を差し伸べないことに違和感を感じる。」
本当にそうだと思う。増税に対

し、どんな意見を持つとうが私達が忘れてはならないのは「人を助けたい」と思うこと。私達が当たり前前に払っている税金が、いつ、どこで、誰に、どのような形で使われているのかもと知ろうとするべきである。間違いないといえるのは、税金は、自分にも自分以外の人にも役に立っているということだ。それを知った上で、これから



★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

福岡県立 朝倉高等学校
一年 内藤 佑依

「税金の大切さ」

私たちは、税金と親密に関わって生きています。例えば病気になるって、病院で治療を受けたときに、薬などの代金の一部は税金から支払われます。また私たちが通学に使う歩道や車道が壊れてしまったときも、税金を使って直してくれます。ニュースで見る街中の人は、税金が上がるのを全力で否定していますが、否定するだけではなく、支払った税金が私たち

の生活をよくしてくれている事もっと知って、少しでも「税金は高いけど、その見返りとして安全に生活できる」と思つてほしいと私は思います。

私が今までで一番税金に感謝したのは、小学校中学年の時です。その頃に私は友人と鬼ごっこをしていて、あやまってジャングルジムから転落してしまいました。病院に連れて行かれたところ、案の

定骨折して、先生からは数ヶ月間は病院に通うこととなりました。この時私は骨折が治るかどうかがより、金銭的な面で親に負担をかけてしまうのではないかとという申し訳なさや罪悪感でいっぱいでした。数週間経って回復の兆しが見え始めた頃、私は思い切って母に「私がかがして、いっぱいお金使わせてごめんね。」と言いました。私の予想していた答えに反して、母は「全然大丈夫よ。税金があるから、少しは払うお金が少なくなるの。」と言ってくれました。この時に、私は初めて税金とそれを払ってくれる方々に感謝したのを今でも覚えています。

それ以降、私は少しずつ税金について興味を持つようになっていきました。自分で調べたことや親から聞いたこと、学校の授業の中で、税金は自分が思っていたよりもいろんなところで私たちの生活の役に立っていると知りました。特に警察や救急車、消防車などの公共サービスにも税金が大きく関わっていると知ったときはとても驚きました。そんなところまで税金が関わっているのか、と思う

と、正直今でもよくできているなと思います。

こんなに大事な税金がもしなくなってしまうたら、私は時々そんなことを考えます。もちろんまとも生きていけるはずありません。私自身税金は払っていないからこんな事は言えないとは思いますが、税金は本当に大切なものだと思います。私はこれからもっと知り、日本の未来を考えていけるような人間になりたいです。



★朝倉地区租税教育推進協議会 会長賞

福岡県立 朝倉東高等学校
一年 堤 巴奈

「税について考えたこと」

私は税の授業で税理士の方から講話を聞き、税の大切さを改めて知ることができました。私たちの身近にある租税は弥生時代から存在しており、昭和二十五年には「シャウプ勧告」というものが出され、現在の税制の基本となる地方税制が制定されました。そして平成時代に入ると消費税が導入され、二度にわたって消費税の引き上げが行われて現在のようになっていると思います。税が引き上げられることについて、講話を聞くまで「なぜ消費税が上げられるのだろう。」や、「税金が上がれば物の値段が上がるから嫌だな。」と思っていました。しかし、現在は高齢化社会になっていき、若者に対して高齢者の割合が高くなり、高齢者が安心して生活するための年金が不足してしまう問題があることを聞いて、私たちの払う税金

で少しでも解決していきたいと思いました。税が引き上がり、高齢化が進んでいけば、支給しなければならぬ年金が増えていっても、税金が不足し正しい金額の年金が支給できなくなるという大変な問題が起きてしまうからです。それらが起こることを防ぐには税金の引き上げはなくてはならない。未来のための大切なお金だということがよく分かりました。年金や社会福祉に使われる税金の他に、約五十種類もの多くの税があることも今回の講演で初めて知りました。今では払うことが当たり前となったこれらの税金は私たちのいる日本だけではなく、世界共通であり、平和な世界を作るためにはとても大切な役割を果たし続けています。もし、世界に税金が存在しなかったとすると、人々は物を購入する時に税金が無い分安く

るので誰しもが税を払わなくて良
いことに喜ぶと思います。しか
し、税を払わないということは、
今のように簡単に建物も作れなく
なったり、救急車を呼ぶ時にお
金がかかるなど、人々が安心して
暮らせるような世の中は作って
いけないと思います。でも、現在
は五十種類もの様々な税の制度が
作られ、国民一人一人が払うこ
とによっていろいろな物が税金で
まかなわれ、安心できる世の中が
できていると思うので、改めて税
金の大切さを感じることができま
した。税金はいつになっても払わ
なくてはいけないものなので、これ



★公益社団法人 甘木朝倉法人会賞

福岡県立 朝倉光陽高等学校

一年 古賀 眞由

「税のありがたさ」

私たちが豊かに安全に暮らすこ
とができているのは、私たちが税
金が支えてくれているからだと思
います。私たちが納めている税金
は無駄なく福祉などの公共サービ
スや普段利用している学校、公

園、図書館などの公共施設に使
ています。そのため、税金をみん
なが納めているからこそ救急車を
呼んだり、火事の時に消防車を
呼ぶことができ、一人でも多くの
命を救うことができます。あたり

まへのように払っている税金は、
みんなの命を救うためのものであ
り、私たちの暮らしを支えるため
のものでもあり、人間らしい生活
の質を保つことができる大事なも
のだと思います。しかし、生活扶
助を受けている人、障害者、未成
年者など税金が払えない人もこの
世の中にはたくさんいます。その
ため、税金を払える人たちが支
ていかなければなりません。今の
時代では、お年寄り一人の暮らし
を支えていくことがとても大変な
時だから、みんなが助け合い税金
を有効に使っていくことがなによ
りも税金で支えていかななくてはな
らない若者の負担が少しでも楽に
なると思います。

会な今、SNSなどで呼びかけて
行なうことが大事だと思います。
私は税を作文を書くことによっ
て、自分たちが学校に通えるこ
と、安全にあたりまえのように暮
らせることがみんなが支えてくれ
ている人のおかげだと気づきまし
た。将来支えていかななくてはな
らない私たちが税のことをもっと
知っておかなくてはならないと思
うので社会貢献できるようになる
ためにも、しっかりと勉強に励み
これからの世の中を支えていける
ような人になりたいです。

それに対して、一生懸命税金で
みんな支えているにも関わらず
ちよつとしたことで救急車を呼
んだり、放火をして消防車を呼ん
で税金を無駄にしていると思いま
す。一人一人の無駄をなくすこと
で環境も変わり、負担する大き
さも変わってくると思うので世の中
に必要なことに使っていけるよう
に時代が変わればいいなと思いま
す。そのためにも、ユビキタス社



中学生の優秀作文

★福岡県納税貯蓄組合連合会 会長賞

朝倉市立 甘木中学校

一年 江藤 瑠歌

「あなたは皆の事を 考えられる人ですか？」

税金って本当に必要なのかな？
私は、そう疑問に思っています。
た。価格の高いものを買おうと、税
金が入って、もつと値段が高くな
るということは、あまり良いとは
思えませんでした。

でも、社会の授業で税について
学んでいくにつれて、税金の大切
さが分かるようになりました。国
民が税金を払うことにより、消防
士などの公務員の皆さんにお金が入
ったり、私達の学校で使う机や
いすになったりするのです。そし
て、何よりも、高齢者の方々への
年金や、津波や地震などの災害に
あってしまった方々の家や病気を
治す保険など、税金は私達の身の
回り、とても助けになっている

のだと感じました。ふだん私達が
生活の中で利用しているものが、
税金で補われていることにおどろ
きました。

しかし、現在、高齢化社会な
どが進み、税金で補われている
社会保障の費用が増加していま
す。また、高齢化社会が進むと、
社会保障の費用を負担する働き手
が減り、高齢化が進むという現状
なのです。高齢者の皆さんも老後
の安定した生活ができるか、不安
になっている方もおられると思
います。では、どのように税金を大
切にすることができのでしょうか。

まずは、税金が私達の暮らしに
どのように影響しているか、考え

ることです。また、税金が完全に
なくなるなら、どのような世の中
になっていくのか、想像してみ
ることです。

例えば、税がなくなれば、道路
のほ装もしなくなり、火事があつ
た時には、誰も火を消しに来てく
れないのです。このように、税金
が払われることにより、たくさん
の人々の安全や暮らしを守って
くれるというメリットがあるので
す。

私が考えたことは、税金につ
いて、自分のことしか考えてい
ない場合と、皆のことを思い巡
らしている人とは、見方が大き
く違ってくるのではないかとい
うことです。もし、自分のことのみ
を考えているとしたら、その人は
きっと、「ああ、また税金が増え
た。」と自分の出費しか考えない
と思います。けれど、皆のことを
考えている人は、「ああ、また税
金が増えたな。でも、この税は、
私達を助けてくれるものに使われ
るのだと思う。」と積極的な見方
をするのではないのでしょうか。

私は、税について、自分のこと
だけでなくすべての人にどのよう

な益があるのか、いつもそのこと
を考え、前向きな見方をしてい
たいと考えています。そして、一
人一人が、そのような見方をする
ことにより、税に対して積極的に
考え、思えるようになれる人が、
きっと増えていくと思います。将
来に向かって、互いに学び合い、
助け合い、これからも税の大切さ
について認められるようになって
ほしいと願っています。



★甘木税務署長賞

朝倉市立 南陵中学校
三年 平井 舞子

「未来のための貯金」

「ええ!!また消費税、上がるよ?」

消費税引き上げが決まったとき、正直私はうんざりしました。数ある日本の税の中で唯一、私も直接納めている消費税、子どもの私にとってそれが上がることは、かなりの痛手です。

結局、十パーセントは先延ばしになり、とりあえずは危機を逃れた私ですが、最近では、税金について少し前向きに考えることが出来るようになりました。

きっかけは、学校であった租税教室です。

税金についてくわしい話を聞いた後、DVDを見たりして税について考えました。日本にはたくさん種類の税金があり、その全ての税金がいろんな所で活躍していると分かりました。

そこで私は、自分の一日を振り

返り、生活に関わる税金について考えてみることにしました。平日私は学校に行きます。毎日自転車

で、車で、歩いて、通る道路にも税金が関わっています。私達の生活に欠かせない道路や橋、空港などは、税金を使い、整備しています。そうすることにより、利便性、安全性を確保、維持している

のです。もし税金制度が無く、道路や信号が使えなくなってしまうら、大変なことになります。

学校にもたくさん税金が関わっています。校舎や施設はもちろん、私達があたりまえのように使っている教科書も税金により無償で私達の手に渡っています。

家庭から毎日のごみも税金を使い処理しています。このように私達の日常生活の中には、自然と税金が関わっていると分かりました。そして私は、税金制度が無く

なると、税金を納め続けることよりも困ることが多くなってしまわないかと思いました。これが、私が税金について前向きに考えることができるようになった理由の一つです。

もう一つの理由は、租税教室で聞いた「未来のための貯金」という言葉がとて印象に残ったからです。

借金大国と言われる日本では国債残高という返さなければいけないお金が増え続けているそうです。そこで国民一人一人にかかる負担も大きく、大きな問題とされています。さらに少子高齢化により将来、もつと負担は重くなると予想されています。

今、頑張つて働いて、税金を納めてくれる両親はいずれ年金をもらい、社会保障を受ける立場

になって、次は私が働いて、税金を納める。そしてまた次は私が年金をもらい、社会保障を受ける。私は、そのときのために税金を納める、つまり「未来のための貯金」とはこういうことなのかと思っています。

日本国民みんなが、これからも安全に、少しでも快適に生活できるようにするために税金とはとても大切なことなのだと思います。



★甘木税務署長賞

朝倉市立 甘木中学校
一年 井上 美和

「安心・安全を届けるヒーロー」

みなさんは、私たちの暮らしの中で役立っているヒーローは誰だ

と思いますか。私は、「税金」だと思います。なぜなら、税金は、

公共の施設や公共サービスなど、数えきれないくらい多くの場所で私たちの安心、安全を守ってくれているからです。

例えば、私たちの通っている学校。これは税金で建設されています。また、警察や消防、町の清掃活動なども税金によって動いています。「税金」という名のヒーロー、通称「税金マン」は、いろんな場所で活躍しているのです。

では、税金マンはいつたいたどこからやって来るのでしょうか。

それは、人々の努力によって生み出されています。つまり、税金マンは国民全員の手でつくり出されているのです。

しかし、今の日本の現状として、借金が増え続けているという問題点があります。本来ならば、歳入と歳出の金額がイコールでつながらなければならぬのですが、今の日本の現状では、国などの収入に対して、支出の金額の方が多く、借金が増え続けています。これは、少子高齢化が進んでいることが原因としていえます。高齢者が増える一方で、社会保障の費用を負担する働き手が減って

いるのです。

それでは、私たちはこの問題点について、一人ひとりがどう心がけるべきでしょうか。

まず、考えなければいけないことは、この豊かな暮らしは税金マンのおかげで成り立っているということです。そして、税金のありがたさを知って、物を大切にすることも大事だと思います。

私は今まで、税についてあまり関心がなかったけれど、税金、いや税金マンは、形あるものを残していくだけではなく、人々の心に「愛」を届けているのだらうと感じます。だから、笑顔で不自由のない生活を送ることができるでしょう。

こんな豊かな生活を送られるということは、やっぱり、税金マンが私たちの暮らしのヒーローだからだと思えます。



★福岡県久留米県税事務所長賞

朝倉市立 甘木中学校
二年 井上あかり

「税金は幸せへの手立て」

私が住んでいる福岡では四月にいきなり地震が発生しました。震源地は熊本です。となりの県だけあって最大震度七の大きな地震は日本を驚かせました。熊本地震はの被害は、家の崩壊、道路にひびが入ったりなど生活が困難になってしまふ被害がたくさん現場で起こりました。当たり前毎日が当たり前では無くなった時、人はどう思うのでしょうか。とても怖くていつ普通の毎日にもどれるか分からない、不安でいっぱいになるんだと思います。ですがテレビをつけるとどんどん復興していく熊本の姿が映し出されます。動くのが速い日本だなと感心しました。

熊本に普段がとりもどされているんだと思うと一緒にこの莫大な費用はどこから使われるんだろうと興味を持ちました。

日本は一連の地震を受け、私は

復興費用のために消費税を増税するのではないのかなと考えました。増税には賛否両論な結果が出ると思います。地震を受けた熊本のことを思うと消費税はあげてもいいと思うけど、その消費税をはらってくれる大人達の負担は大きくなります。私にはどちらがいいのかなど分かりません。ですが、一つ分かったことは税金は確実に人のために役立つということ

です。税の主な使い道は社会福祉です。酒税やタバコ税、ガソリン税などたくさん税があり聞きは悪いです。ガソリンは百円のうちの六十円がおよそ税だそうです。税なんてなければ四十円でガソリンが手に入ります。ですがこの六十円分でどれだけの人を助かるのだろうか、どれだけ困った人を楽にするのだろうか。考えたいたらきり

がないほど税金は役に立っていない。私達が学校で使っている教科書も国民のみなさんのおかげで使えています。

小学生一人あたりどのくらい税金が使われていると思いますか。私は四十万ぐらいと考えていましたが、約八十万も使われています。私達が勉強できるようにたくさんのお金が使われています。私は幸せなんだなと実感しました。

税金の使い道を決めているのは誰なのだろう。私は調べました。すると国会議員だったり県会議員、市会議員なのです。ということは国民が選挙で直接選んでいる人たちが決めたルールだそうです。この事を知って自分の一票の大切さ、たった一票ではなくされど一票です。税金の使い道を国民のみなさんにもっと深く知ってもらうことで選挙に行くきっかけにもなると思います。

二十十六年から選挙権は十八歳以上のすべての男女にあたえられました。このことから、税金のことをもっと国民に知ってもらいたくなりました。

今の日本ではお酒とたばこは二十歳からですが、十八歳に引き下げると税金が増えます。つまり税金が増えることになります。税金をばらうのはデメリットだけではなく日本の未来が幸せになる大きな手立てになります。



★甘木税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

朝倉市立 甘木中学校
一年 小島 千鶴

「税について学んで」

私は、税について学んで、「税」はとても大切なものなんだ、と改めて納得しました。

一つめは、私たち中学生で一人あたり約九十九万三千円も税によって負担されていることを知って、「そんなに高くて大丈夫なのかな。税は無くなってしまわないかな。」と不安になっていました。すると、平成二十八年度の一般会計予算が約九十六兆七千億円、とありえないほどの予算があることを知り、「これくらいなら大丈夫かも。」と安心しました。

二つめは、公共施設に税が使われていることです。公共施設は、みんなが使う施設なので、より一層、「大切に使わなくてはいけない」という思いが強まりました。もしも、税金が無くなってしまつたら、今の私達のいる学校や公共施設が無くなり、私達の必要な

「学習力」が身につけることができなくなり、日本は大変なことになってしまいかもしれません。そのことを考えると、税の大切さが良く分かります。そして脱税している人が絶対許せません。

脱税する、ということは、病院や消防、警察なんて必要ない、私達の町なんてどうでもいいと言っているのも同然だと思っています。

私は教科書を使っている時、「税をきちんと払ってくれている人ありがとうと伝えたい」と何度も考えています。しかし、私達は物を買う時に「消費税」という税を払っているのです、その税も活かされているのかな、と考えたりもします。

税は大まかな税から細かい税まで様々な税があり、その一つ一つが私達の身の回りに活かされているんだな、と考えています。

私も大人になって税を払わなくてはいけなくなります。納める時に「この税はどう使われるのかな」と考えると思います。

だから、これからの私は、納めたり、使われたり、とくり返すと思います。新しい教科書をもたらしたりするとき、「私もしよう来払う時は、きちんと責任をもって納めなくちゃいけないな」と考えます。

このように、私は、納める時は使い道を考えて、税の使われている物を大切に使用していきたいです。

税自体も大事だけど、税の使われている物を大切に、私自身も

税を払うだけでなく、一生懸命働いて、社会にこうけんしていきたいです。そのためにも、勉強をしつかり頑張っていけます。



★甘木税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

筑前町立 夜須中学校
三年 森 健翔

「僕達の生活と税金」

僕は、今まで税に興味がなく、税のことをよく知りませんでした。そのお金は学校の建築や教育費、警察や消防、交通網の整備などに使われています。僕たちが一番関わっている税は「消費税」。

最近では消費税が年々上昇するかもしれないという話題がある。消費税が上がるといことは、物の値段も高くなるということだ。「価格が上がるなんて信じられない。ただでさえお金に困って

るのに」と思う人はたくさんいる

と思う。しかし、消費税が上がると、税金が高くなる。税金が高くなると、国に集まる税も、当然多くなる。たくさんのお金が国に集まると、それだけ多くの公共施設やサービスが設立される。つまり、税金が高くなればその分、自分たちの生活が豊かになるのである。

また、僕たちにとって将来大切になっていくのが、社会保障についてだと思っています。今、少子高齢化が進んでいて、僕たちが大人になり、働くようになる時には働く人の割合が少なくお年寄りの割合が高くなるでしょう。そうになると、お年寄りの年金などの費用の負担が大きくなります。大人になって税金が増えた時、税金がたくさん役立っているということを、考えていきたいと思いました。僕はまだ大人ではありませんが、五年もすれば消費税だけでなく、払う税金も増えていきます。一生付き合っていく大切なことです。僕は

税について何も知らなかったけれど、様々なことを知り、税に関心が持てました。もっと一人一人が税に対して関心をもてば、無駄な

く税金が使えると思います。

普段、税について考えることはなかなかありません。今回自身身の関わりから税について考えてみると、納税することの大切さや、税金に助けられることもたくさんありました。考えていくなかで、国民一人一人が税金のおかげで生活することができているのだから、納税が義務であることは当たり前であると思いました。僕は将来、仕事に就いたとき誰かのために納税できることを誇りに思えるような大人になりたいです。そして、税に支えられて生活していることを多くの人に理解してほしいと思います。そのために、税の使い道を決めていく方々には、無駄遣いがなく正しい使い方をしてほしいと思います。自分のため、誰かのため、そんな思いで税を考えていくことで日本社会の未来がさらに明るくなってほしいです。よりよい社会づくりに貢献することは、自分が果たすべき責任を自覚し、きちんと税を納めることです。社会の一員として、やるべきことを当たり前にできる、そんな人間でありたいです。

★**甘木朝倉地区租税連絡協議会 会長賞**

朝倉市立 甘木中学校
一年 武内 智怜

「税金について考えたこと」

私は、税について深く考えたことはありませんでした。けれど、この作文をとおして税について調べ、考えることができました。まず、学校に使われている税金について調べてみました。調べてみると、小学校、中学校にかかるお金は、一人につき約百万円で税金から補助金が出ているということが分かり、びっくりしました。教科書を無料で私たちが使えているということ、給食費が安くおいしい給食を食べられること、さまざまなものに税金が使われていて、とても役立っている、ありがたいと思いました。だから、税金によって毎日勉強ができていることに感謝して、ものを大切にして勉強を頑張っていきたいです。

次に調べたことは、病気やけがになったときに使われている税金についてです。例えば、かぜを引

いたり、けがをしたりして病院で手当てをしてもらうと、お金がかかります。だけど、かかったお金の一部が税金でまかなわれているので、私たちの負担は少なくなっています。

最後に調べたことは、高齢者の方や介護が必要な方に使われる税金についてです。一つ目は、施設への補助や介護用品である、車イスなどに使われています。二つ目は、視覚障害のための点字ブロックや信号で音が鳴るスピーカーなどの設備に使われています。高齢化が進む日本で、高齢者の方が快適に安心して過ごせるためにもこの税金は、役立っていると思います。そして、介護が必要な方や障害がある方への支援が、さらに充実していくことを願っています。また、私が年をとって高齢者になったときも、このように税金

が役立てられていると嬉しいです。

私は、国民全員が働いてためたお金で払われている税金で幸せに過ごせていることに感謝しないといけないと思います。私は、まだ消費税しか払ったことはないけれど、私が将来さまざまな税金を払う立場になったときは、みんなが快適に安心して過ごせるような国にするために、無駄なくいろいろな立場から考えて使っていくってほしいです。今回、税金について調べたことで税に対する意識が高まりました。さらに、みんながもっと税金について知ることによって税金をこれまで以上に大切に感謝して使

★**朝倉地区租税教育推進協議会 会長賞**

朝倉市立 甘木中学校
一年 菅原 未唯

「税金の使い道」

私は、税金は大切な物だということを知りました。税金の多くは公共物に使われていることも知りました。また、私達中学生一人一人にも負担されていて、身近にも

税金が使われていました。その中で、私が注目したのは社会保障についてです。社会保障は私達が安心して生活するために必要な公的サービスのことだそうです。



うと思います。だから、国民全員が税金への理解や関心を深めるためにも、テレビやラジオでのPRや税金のことについての授業を増やすなどの学ぶ機会を増やしてほしいと思います。

今、その社会保障の費用が増え
ていき、少子高齢化しています。

私は、まず、子供を増やすため
に保育士の給料を上げることがい
いと思います。

理由は、保育士の給料を上げる
ことで保育士になる人が少し増え
るからです。保育施設や保育士が
増えると、母親が安心して子供を
産むことが出来るし、保育施設が
近くにあれば相談を行うことがで
きるのです、子供を少しずつ増やす
ことができます。でも、上手くい
くことでもありません。

それで、少子を増やせたとして
も、子供が税金をはらうことはで
きません。また、今高齢者がほと
んど選挙に行っているということ
があります。当然、当選しても
らうために税金を社会保障に充て
ます。それに比べ子供の親、若い
世代の人達は、選挙に行く人が
年々減っています。それに、今、
人口が減っているのです、保育士の
給料を上げると、一人にかかる税
金が増えます。私は、社会保障を
2、3%減らし、保育士にあてる
ことで、少子を少しずつ増やせ、
人口減少も止めることができる

思います。また、国民が増えること
で歳入、国などの収入は増えます。

私が、今、欠けていると思うこ
とは、子供を増やすための活動だ
と思います。まずは、子供を増や
し、人口減少を止めて国民を増や
してゆくことが必要だと思いま
す。それから選挙に関心を持つこ
とを学んで、国民全員が選挙に行
くようになれば、子供にあてる税
金が変わってくると思います。

すぐに、変化が見えることはな
いかもしれないけど着実に税金の
使い道は国民全員に使われる国に
なっていくと思います。

少子高齢化に対応するため
は、国民一人一人に預かった税金
は使い道を見直すことが大切なこ
とだと思いました。



★公益社団法人 甘木朝倉法人会賞

朝倉市立 甘木中学校
二年 松木 愛花

「税金の大切さ」

私は税金のことをニュースなど
で聞いたりしていたけど良いイ
メージを持ったことがない。なぜ
かというと、税金はいろいろな物
を買ったりするときに税金がかか
るから本当の値段よりも高くなる
ので良いイメージを持ったことが
なかった。

でも、税金は私たちのためにさ
まざまな物に使われていることが
分かった。例えば、私たちがあた
りまえのように使っている学校の
教科書や机やいすなど身近な物に
使われていることが分かった。学
校で使っている教科書は無償でも
らっていることを学校の授業で
習ったことがある。でも、それは
税金で買われていることが分かっ
たので私は税金のことを良いイ
メージをもつことができた。

他にも税金について調べてみる
と、私たちの生活や安全を守るた

めに使われていたり、医療費が税
金によって安くなっていたりする
ことなども分かった。もし、みん
なが税金を払わなくなったらどう
なるかというと、教科書も無償で
もらえなくなるし、机やいすなど
もなく学校にも行けなくなるかも
しれない。他にも、医療費は今よ
りも高くなっているかもしれない。

そして、最近ニュースで税金が
八パーセントだったのが十パーセ
ントになるということをニュース
で知っているのを聞いた。私はそ
の時、正直「なんであがるんだろ
う。」や「あがらなくていい。」
などといった反対意見を心の中で
思っていた。でも、今こうやって
税金のことで調べてみると、それ
も私たちのためなのかなって思う
ようになった。

こうやって、私たちが毎日過ご

しているのは税金によってまかなわれているからだと思った。

そう考えると、税金は私たちにとつてとても大切で必要なものだった。

今まで私は、「税金は必要だ。」と思ったことや「税金について知りたい。」と思ったことは、一度もなかった。でも、今回税金について調べてみると税金はとても必要だと思った。

私たちが毎日学校で「勉強したくない。」と思っても勉強ができているのは、税金を払っているからだということが分かった。

私たちは今、まだ税金はあまり払っていないで使っている方が多いから私たちが大人になったら、いやと思うこともあるかもしれないけど税金は必要ということが分かったのだからちゃんと払っていきたいと思った。

私は今回、税金について調べて税金が必要ということが分かったので税金に対するイメージが変わった。

今は、みんなが払っている税金で毎日過ごさせていて、支えられていると思うので私が税金を払うよ

うになったら恩返しとしてみんなを支えていきたいと思った。

この税の作文を書いたことでのいろいろなことを知ることができたり、学ぶことができたのでよかった。



税の標語

全国間税会総連合会 入選

幸せな 今日を支える 消費税

梶木中学校 二年 畠江 萌彩

支えよう 日本の未来を 納税で

十文字中学校 三年 釜堀 晃也

消費税 社会で役立つ 身近な税

比良松中学校 一年 赤時 名奈

生きてます 社会を築く 消費税

甘木中学校 三年 田中 悠斗

税金は 明日へと続く 道しるべ

東峰学園 九年 伊藤 瑠花

甘木朝倉間税会が募集した「税の標語」です。本年度は管内中学校9校から二〇二六名の応募がありました。

租税教育活動を やっています

甘木朝倉地区税務連絡協議会では、構成団体が協力し、税知識の向上及び納税意識の高揚を目的にさまざまな活動をおこなっております。



法人会女性部会による学童保育所での租税教室



法人会青年部会による小学校での租税教室

甘木朝倉地区 税務連絡協議会とは？

★構成団体は？

- ・ 公益社団法人甘木朝倉法人会
- ・ 甘木税務署管内青色申告会連合会
- ・ 甘木税務署管内納税貯蓄組合連合会
- ・ 朝倉地区税務相談所運営協議会
- ・ 甘木朝倉間税会
- ・ 甘木税務署管内酒類業懇話会
- ・ 九州北部税理士会・甘木支部

★何をしている団体ですか？

- ・ 一般の方々の税知識や納税道義の向上を目的とした様々な活動を行っています。
- ・ 中学生や高校生の税に関する優秀な作文を表彰する等して、租税教育の支援をおこなっています。